

みずの詩保育園

（歴 史）

社会福祉法人南山城学園は1965（昭和40）年に京都府城陽市を拠点とした知的障害のある方たちの入所更生施設に始まりました。創立から50年を機に新たな福祉事業として、平成27年4月に京都市内に小規模保育事業所を開園し、翌年4月に母体となるもりの詩保育園を開園いたしました。そして、令和元年5月に、島本町の保育基盤整備加速化方針に基づく緊急事態宣言を受け、令和元年5月にくりの詩保育園、令和4年には認定こども園ゆいの詩を開園致しました。

（保育理念）

1. 子どもたちの尊厳を尊重し、子どもたちの幸せを追求する。
2. 地域の「子ども・子育て支援」のニーズに取り組み、地域の子育て支援に貢献する。
3. いつでも誰もが安心して利用できる保育サービスを創造する。

（保育方針）

1. “あのね”を聞ける保育

子どもたちは、日々の生活の中でたくさんことに気づき、たくさんを発見をします。その気づきや発見に耳を傾け、子どもたちから先生あのねと発信できる保育を目指します。

2. いつも笑顔でいる保育

子どもたちの“笑顔”は、関わる人々からもらってつくられていきます。子どもたちがいつも笑顔でいられるように、いつも“笑顔”であふれている保育を目指します。

3. 遊びを成長につなげる

保育子どもたちは、遊びの中から手や足の巧緻性（器用さ）を高めていきます。子どもたちが今日できるようになったことを見逃さず、そっと成長につなげていく保育を目指します。

4. 保護者と見守る保育

保護者にとって居心地がよいことは、保護者との信頼関係が築けている証です。保護者の悩みに耳を傾け、家庭とともに子どもの成長を見守る保育を目指します

（保育の特徴）

当法人は、認定こども園ゆいの詩、くりの詩保育園と同様に「家庭的で温もりのある保育」を目指して運営いたします。また、登録園児のみならず、地域と共に子育てをする保育を実施してまいります。

子ども達が成長していくうえで大切な「好奇心」「探究心」「向上心」をまっすぐ育むために。私たちは子ども達が素直に感じながら自分の歩幅で学ぶことを通じて、一つひとつの成長を実感できるような環境をつくっていきます。

そのために、みんなと過ごす日常の保育を大切にし、行事についてもその延長上にあるものとして、日々子ども達の成長を保護者の方々と共有する機会と捉えております。また、異なる年齢における子ども同士の関わりは、思いやる心が自然と身につきます。大人が子どもの遊びや学びを決めるのではなく、子ども達と共に作っていくことで体感する「気づき」を大切にします。とても重要な乳幼児期の成長を、地域とともにお手伝いすること。

そんな子育て支援を私たちは目指しています。なお、登園は、認定こども園ゆいの詩の連携園となるため、日常の保育だけではなく、卒園後のサポートについても連携を図ってまいります。

(その他)

1. 認定こども園ゆいの詩の連携園

当園は、認定こども園ゆいの詩の連携園となります。卒園後は、認定こども園ゆいの詩へ優先的な受入れを行うことができます。※ただし、確実な入園をお約束するものではありません。

2. 放課後児童健全育成事業（学童保育）の併設

当該建物には、放課後児童健全育成事業（学童保育）を併設します。連携園となる認定こども園ゆいの詩卒園後には、放課後児童健全育成事業（学童保育）を利用することでスムーズな小学校移行を支援します。

3. 地域の子育て支援

当園でも、「子どもを地域と共に育てることが大切」の考えを基に、今後地域の子育て世代を対象とした取り組みを実施していく予定です。

- ・保育園で遊ぼう等（詳細は、当園にお問い合わせください）

4. 保護者支援

①行事控えめ

働く保護者の方を支援するため、保護者の方に参加いただく年間行事を少なくしています。ただし、時間があるときはいつでも保育園にお越しいただいてもかまいません。

②お昼寝セット完備

お昼寝セットは園が用意します。お布団の持ち運びの手間はありません。

③その他

子育て等についてお悩みの場合はお気軽に保育士にお申し出ください。いつでも相談をお受けいたします。一人で抱え込まず一緒に子育てをしましょう。

(年間目標)

0歳児	○ 落ち着いた雰囲気の中で欲求を満たし、情緒の安定を図りながら一人ひとりの豊かな個性を育み、信頼や愛着関係を育てる。 ○ 個人差に留意しながら離乳の完了や歩行、発語への意欲を育てる。 ○ 保健的で安全な環境の中でのびのびと遊び、様々な体験を重ねて発達を豊かにし、身の回りの物事に対する興味や関心を持てるようになる。
1歳児	○ 保育者に見守られながら過ごす中で、安心して自分の気持ちを表す。 ○ 自分からやりたいという気持ちや好奇心が芽生える。 ○ 安全な環境の中で、全身を使った遊びや探索活動を行う。
2歳児	○ 季節に応じた環境の中で、生命を保持し、情緒が安定する。 ○ 保育者との安定した関わりの中で、生活に必要な身の回りのことを十分に取組もうとする。

	○ 自己主張をしながら、友達と遊ぶことを楽しむ。
--	--------------------------

(年間行事)

	行事内容		行事内容
4 月		10 月	親子交流会
5 月	こどもの日、個別懇談、歯科検診	11 月	
6 月		12 月	クリスマスイベント
7 月	内科検診、プール・水遊び 開き、七夕	1 月	
8 月		2 月	生活発表会、内科検診
9 月	敬老の日イベント	3 月	お別れ会

※毎月：避難訓練

※定例：月誕生会、身体測定

※地域参加行事：保育園で遊ぼう、おやつ教室など

※入園後、7日間程度は慣らし保育を行います（お子様の状況によって伸ばす場合もあります）。

※行事は年度ごとに多少変化します。詳しくは園にお問い合わせください。